

第四十九回 帝國議會 貴族院議事速記録第四號

大正十三年七月五日(土曜日)

午前十時二十七分開議

議事日程 第四號 大正十三年七月五日

午前十時開議

第一 非常徵發令廢止ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二 大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵德川家達君) 一昨三日從三位勳一等武宣時敏君、貴族院令第一條第四號ニ依リ、貴族院議員ニ任セラレマシタ、依ッテ同君ノ席次ハ太秦男爵ノ次席ト確定シ部屬ヲ第五部ニ定メマシタ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

去ル二日常任委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ和シ

懲罰委員會

委員長 伯爵小笠原 長幹君

副委員長

土方

寧君

決算委員會

委員長 伯爵堀田 正恒君

副委員長

澤柳 政太郎君

同日請願委員分科會ニ於テ當選シタル正副主查ノ氏名左ノ如シ

第一分科

主查 子爵本多 忠鋒君

副主查

子爵秋田 重季君

第二分科

主查 子爵清岡 長言君

副主查

子爵白川 資長君

第三分科

主查 子爵五條 爲功君

副主查

男爵調所 恒德君

第四分科

主查 子爵柳生 俊久君

副主查

男爵若王子 文健君

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第一回報告書

一昨三日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

非常徵發令廢止ニ關スル法律案特別委員會

委員長 侯爵鍋島 直映君

副委員長

子爵野村 益三君

大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案特別委員會

委員長

伯爵副島 道正君

副委員長

馬場 鏐一君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

非常徵發令廢止ニ關スル法律案可決報告書

大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案可決報告書

從三位勳一等 江木 千之君

同日願ニ依リ貴族院議員ヲ免セラル

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケタレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

内務省所管事務政府委員

內務技監 市瀬 恭次郎 君

大藏省所管事務政府委員

大藏書記官 津島 壽一 君

昨四日決算委員會ニ於テ決定シタル分科、分科擔當委員及正副主查ノ氏名左ノ如シ

第一分科(鐵道、大藏省、鐵道省)

主查子爵新庄 直知君

副主查男爵野田 龜喜君

男爵高千穂 宣磨君

男爵山内 豐政君

鈴木 惣兵衛君

男爵北河原 公平君

中村 圓一郎君

石橋 謹二君

平尾 喜三郎君

土田 萬助君

侯爵鍋島 直映君

青木 才次郎君

第二分科(外務省、內務省、司法省)

侯爵鍋島 直映君

伯爵中川 久任君

子爵秋月 種英君

子爵野村 益三君

子爵池田 政時君

大山 綱昌君

河村 善益君

男爵中島 久萬吉君

澤柳 政太郎君

兼務

男爵野田 龜喜君

土田 萬助君

第三分科(陸軍省、海軍省)

主査子爵高倉 永則君

副主査男爵永山 武敏君

侯爵大隈 信常君

伯爵堀田 正恒君

子爵今城 定政君

子爵藪 篤麿君

志 佐 勝君

男爵鍋島 直明君

木内 重四郎君

成清 信愛君

兼務

男爵北河原 公平君

高橋 隆一君

第四分科(文部省、農商務省、逓信省)

主査子爵西大路 吉光君

副主査 高橋 琢也君

子爵片桐 貞央君

道家 齊君

男爵黒川 幹太郎君

男爵赤松 範一君

男爵周布 兼道君

佐藤友右衛門君

桑原 善吉君

今井 五介君

山内佐五兵衛君

高橋 隆一君

本日常任委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

豫算委員會

委員長 伯爵林 博太郎君

副委員長

石渡 敏一君

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、去ル二日、本院議員公爵松方正義君ガ薨去セラレマシタコトハ誠ニ哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ所デゴザイマス、公爵ガ我が皇室ヨリ常ニ深キ御信任ヲ蒙ラレ、又國家ノ爲ニ盡瘁セラレマシタ所ノ各種ノ功績ハ、實ニ偉大ナルモノデゴザイマス、特ニ財政經濟ノ方面ニ於テ適切ナル改革ヲ斷行セラレ、國力ノ増進ヲ促サレタル偉勳ニ至ッテハ、國民ノ永ク忘ルルコトノ出來ナイ所デゴザイマス、依ッテ本院ヨリ弔詞ヲ贈呈イタシマスガ、其案文ノ起草ハ、之ヲ議長ニ御任セラ願ヒタク存ジマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 請暇ノ件ニ付キ御諮リヲ致シマス、徳大寺公爵病氣ニ付キ會期中、鷹司公爵海外旅行ニ付キ會期中、醍醐侯爵公務上會期中、兒玉利國君病氣ニ付キ會期中ノ請暇デゴザイマス、何レモ許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 去ル二日、山田純精君ヨリ病氣ニ付キ決算委員辭任ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第四部ニ於テ其補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 前會ニ引續キマシテ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ許シマス、玉利喜造君

〔玉利喜造君演壇ニ登ル〕

○玉利喜造君 私ハ此前ノ議會、即チ第四十八回ノ議會ニ於テ農商務省ノ分離、即チ農務省獨立ト云フ問題デ以テ、其當時ノ政府ニ催促ヲ致シマシタ、其關係ト致シマシテ、今日此會議デ以テ沈黙ヲ守ッテ居ル譯ニ行キマセヌカラシテ、一言質問演說旁、希望ヲ申述ベタイト考ヘテ居リマス、ドウゾ總理大臣ガ居ラシヤラヌデアリマスカラシテ、農商務大臣カラ御答辯ノアルコトヲ望ム次第デゴザイマス、過日、總理大臣ヨリ御示シノ御演說ヲ拜聽イタシマスルト、毫モ産業政策ニ付テノ御說ハ一向聞及バナカッタノデアリマス、總理御自身ノ口ヨリハマダ當テ發シタコトモ無イト言ハルルカ知レマセヌガ、併シ多年民間ニアッテ率イテ居ラレル政黨トシテハ、互ニ相競ッテ發セラレタ色トノ手形ガアリマス、ソレハ澤山アルノデアリマス、其澤山アルニ對シマシテハ、餘リニ簡單ノ御演說ノヤウデアリマシタ、寧ロ簡單ト申スヨリモ、此實業若クハ農村問題ニ付キマシテハ冷淡ノヤウニ察シラレテ居リマス、或ハ大國策トシテ、施政方針ハ斯ノ如キモノカ知レマセヌケレドモ、今日生産業獎勵ノ最モ必要ナル時節柄、殊ニ地方ニハ貧窮困憊ヲ極メタ農民ガ多數アリマシテ、其事ヲ念頭ニ有シテ忘レザル以上ハ、ドウシテモ農村問題ニ付テハ默ッテ居ラ

レルヤウナ次第チヤナカラウト考ヘテ居リマス、ドウゾ豫テノ御研究モゴザイマセウカラシテ、其一端ナリト御漏シテ願ヒタイト考ヘテ居リマス、是ガ一ツノ希望デアリマス、或ハ組閣日尙ホ淺クゴザイマシテソレハ出來ルイ御註文カ知レマセヌカラ、多クハ望ミハ致シマセヌカラシテ、豫テノ色ノ手形モアルコトデゴザイマスカラ、ソレニ付テ御研究ハ多少アツタニ相違ナイ、デ人ハ中央政府ニ立ツモノハ、ハヤ地方農民ノ状態ヲ忘レタカト云フヤウナコトヲ申スヤウナコトガ能クアリマスカラシテ、何卒懇ロニ御示シテ願ヒタイノデゴザイマス、仄ニ聞キマスルト、前政府ハ農務省獨立ノ案ヲ立テテ現政府ニ引續ギタリト云フノデアリマスガ、其引繼ヲ受ケタル現政府ハ、必シモ其案ヲ實現スル義務、又ハ責務トハ申シマセヌガ、有リマスマイケレドモ、又全ク之ヲ抛棄シテ無關心デ置カルト云フコトハ、ドウモ無カラウト考ヘテ居リマス、就テハ此分離獨立問題ハ如何ニセラルヤ、此短期ノ議會デハ到底審議ガムヅカシイト云フコトガアルカ存ジマセヌケレドモ、次ノ議會ニハ此案ヲ御提出ニナルデゴザイマセウカ如何デゴザイマスカ、之ヲ伺ッテ置キタイ、此問題ハ農務省獨立ト申シマスケレドモ、農務省ガ獨立スルト同時ニ又工商務省モ獨立スルトコトハ言フマデモナイコトデゴザイマスルガ、即チ一舉ニシテ兩全ヲ贏チ得ル次第デ、産業トシテハ是ホド大イナル根本政策ハナイト考ヘテ居ル、是ハ政策デアアル、私ハ政策ト申シマシタ、農商務省ガ二ツニ分レタ、分レタ切りデ外ニ政策ハ無イト云フヤウナコトハ言ハレヌヂヤラウ、分離其モノガドウモ大キナ政策デアアル、立派ナ政策デアアルト私ハ思ッテ居ル、農ト工商トハ自然ノ狀態ガ種々ノ點ニ於テ常ニ利害相反スルノミナラズ、人爲上モ著シク相反スルコトガゴザイマス、ソレ故、海外開明諸國ト申シマスルカ、何レノ國ニ於テモ農ト工商トハ大抵分離シテ獨立ノ一省ヲ設立シテ居リマスル、其然ラザル國ハ僅カ常ニ日本ニ倣ウテ居ル所ノ支那カ波斯ノ如キ此二三國ニ於テハ、農ト工商ト一ツノ省ニナッテ居ルヤウナ次第デ、皆今日ノ文化ノ進ンデ居ル國デハ、別ニ設ケテ居リマス、ソレデ日本デハマア昔カラ農ハ國ノ本ナリト言ウアレダケ尊重シテ居ルダケノ日本デ、何故ニ未開舊式ノ政策ニ依ラルルヤト云フニ、ソレハ全ク官僚的ノ駈引上、豫算ノ駈引上ノ都合カラシテ以テ、斯ウ一ツニ付ケテ居ルト考ヘテ居リマス、勿論此農商務省ト云フモノハ早ク出來タノデアリマスカラシテ、ソレガ今日殘ッテ居ルノデ、其事ハ此前ノ議會デ申述ベマシタカラ申シマセヌ、マア言フト官

僚的ノ駈引上カラデアアル、之ヲ分離スルト工商ガ誠ニ貧弱ナ一省ニナルト、斯ウ云フコトヲ聞キマスル、マア多分ソレガ因デナカラウト考ヘテ居リマス、色々工商ノ方デハ農ニ依ッテ、之ヲ一緒ニ置イテ一ツノ一省内ニアッテ利用セムト欲スルカラ、之ヲ分ケルコトハ好ミマスマイガ、農業家ハ先程申シマスル通り甚ダ貧弱ジ又農業ガ利益ノ無イモノデ、常ニ困ッテ居ルノデアリマス、餘程手ヲ著ケテ獎勵シナクチャナラヌト思フ、ソレガ工業ノ爲ニ引張ラレテ居ッテハ、誠ニ困ルノデアアル、サウシテ一方工商業ハ利益ハ多ク、寧ロ多イヨリモ暴利マデモ貪ッテ居ルヤウナノガ幾ラモアル、工商業ガ尙且ツ農業ヲ利用シテ、サウシテ其發達ヲ圖ルト云フノデ、ソレガ爲ニ農ノ發達ヲ妨害スルヤウナコトニナル、是ハ誠ニ遺憾千萬デゴザイマス、過般、農務省獨立問題ガ順調ニ省内デ進ンデ參リマシタル時、俄ニ此妨ゲニナル運動ガ起リマシテ、故意カ、ソレハ知リマセヌケレドモ、所謂火保問題ノヤカマシイ問題ガ俄ニ起リマシテ、サウシテ是デ以テ大變妨ゲヲ受ケマシタ、ソレガ爲ニ大頓挫ヲ來タシタヤウニ我々ノ催促スル身トナッテハサウ考ヘテ居リマシテ、餘リ酷イ評デアリマスケレドモ、工商ガ農ト一緒ニヤッテ居ル一省内ニ在ル有様ヲ批評シタル言葉デ獅子奮迅ノ……獅子身中ノ蟲ト、斯ウ云フ獅子ト喩ヘテ言ハレタ、農業モ誠ニ當リマスマイガ、其獅子奮迅……デナイ獅子身中ノ蟲デス、又蟲ト喩ヘタモノモ誠ニ酷イデアリマス、デアリマスルガ先ヅ今日人種問題ナドガアリマスルノカラ考ヘテ見マスルト、丁度少數ノ白哲人種ガ、其三倍モアル有色人種ノ間ニ立ッテ、サウシテソレヲ此世界ヲ搔廻シテ勝手ナ宜イコトヲシテ居ルト云フヤウナ風ニ考ヘル、此位ナ所ハ或ハ喩ヘヤウニ依ッテハ言ハレルノデナイカト考ヘテ居ル、ソレダケ我々ハ農業獎勵ヲ圖ル上ニ付テ、此外ノ妨ゲヲ受ケルコトヲバ切ニ案ジテ居ルノデアリマス、此方面ニ付テ申述ベマス、ト申スノハ分離シタガ爲ニ何モ一向意味ヲ成サヌト云ッテハ私ハソレハイカナイ、分離其モノハ先程申ス通り、大變ナドウモ大事ナ政策ニナルデアリマスカラ、丁度、火保問題ト同様ニ此前、農業側デ地租輕減ト云フコトヲ大變迫リマシテ、殆ドモウソレガ必ズ出來ルト云フヤウナ場合ニ至リマシテ、丁度突然火保問題ト同様ニ、突然、營業稅ノ輕減問題ガ工商業側カラ起ッタノデアリマス、サウシテ工商ノ方ハソレガ出來マシテ、農業ノ方ハ是ハ宜イ法ガアル、是ハ農業ハ地方委讓ニシテ、サウシテ又ヨリ以上ニ利益ヲ得ル、便利ヲ得ルヤウニナルカラ、此方ニシヤウト云フ說デ以テ

取止メニナツテ仕舞ッテ取止メニナツタ、サウシテ後ハ色々御研究モシ、色々委員ヲ設ケル、税制ノ根本整理ト云フヤウナ名デアッテ、ナカ／＼全然ムヅカシウナツテ參リマシタ、ソレガ今日マデモ矢張り出來ナクナツテ仕舞ッテ、丁度同ジヤウナ運命ニ陥ッテ居ルノデアリマス、デ利害相反スル農工商、是ハ色々ノ點デ以テ利害相反スルノデアリマス、ソレヲ一ツニ置クト云フコトハ今日ノ産業ノ獎勵上大切ナ時代、時節ニ於テ甚ダドウモソレハ策ノ得タルモノデハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、傳ヘ聞キマスルニ、前内閣時代立案セラレタル農務省ノ獨立案ナルモノハ、聞キマスルト甚ダ私ニ於テハ感服仕ラス、初メハ順境ノヤウニ行クヤウデゴザイマシタケレドモ、果シテ色々ノ困難ニ出遭ウテ、多少ノ局課ヲ取入レル所デヤナシ、自分ノ家ノ局課デサヘモ動カスコトガムヅカシウナツテ、寧ろ農ノ側カラ見マスルト甚ダドウモ不利ナ事ガ起ッテ來タヤウニ見テ居リマス、ソレハ何カト申シマスルト、蠶絲課ト云フノガ農務局ニアリマス、ソレヲ二ツニ分ケテ、養蠶ハ農務省ノ方ニ、ソレカラ製絲ハ工商ノ方ニト云フ案デアッタト云フコトヲ聞キマシタ、果シテサウデアレバ是ハマア非常ニドウモ考ヘナケレバナラス、又大事ナ問題デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、誠ニ是ハ拙ナ愚案ト私ハ見テ居リマス、ナゼデアルカト云フト此養蠶製絲ノ業ハ非常ニ日本ノ上ニ大事ナ産業デアリ、是ガ爲ニ日本ハマア維持サレテ居ルヤウナコトデアル、殆ド五六億ノ製絲ガ亞米利加邊ヘ出テ行クノデゴザイマスカラシテ、是ガ一ツイケナケレバ日本ハ直グ經濟上ノ大變動ヲ來タスヤウナコトニナルダケ大事ナノデアル、此事ハ輕シク取扱ッテハイケナイ、自分トシテ考ヘテ居リマスノハ是ハ矢張り農務省ニ此製絲ノ方面ヲ置イテ、サウシテ養蠶ト製絲ノ方ハ所謂共存共榮ノ精神ヲ以テ相互ニ提携シテ、サウシテ是ガ進歩發達ヲ圖ルヤウニアリタイノデ、ソレデハ或ハ農業側デ以テ此分離ヲ希望シテ居ル者ガアル、ソレハ何カラ起ッタカト云フト、ドウモ養蠶ト製絲家ト……養蠶ト云フモノハ製絲家ト一絡ニナツテ居ルト、ドウモ常ニヤラレテ仕舞フ、斯ウ云フコトデアル、ヤッパリドウモ身中ノ蟲カ白哲人種ノ目ニ遭フノデヤラレテ仕舞フ、ソレデ斷然分レタ方ガ宜シイ、サウ云フ所カラ割出シテ、サウ云フ說ヲ唱ヘテ居ルノガアル、ケレドモ養蠶家ノ方ノ側デ見マスルト、是ハ大抵希望シテ居ルノデ、マア全部ト云ツテモ宜シイ、團體決議シテヤルト云フコトデアリマスカラ、……日本ノ今日ノ農業ノ有様ハ色々ノ困難ノコトガゴザイマスガ、一ツ大キナ困

難ハ農業ノ即チ農家ノ婦女子ガ農村ヲ離レテ行クト云フコトデアル、都會地ニ出テ行ク、又工場地ニ行ッテ、サウシテ働イテ自分々々デ金ヲ作ッテ、サウシテ厚化粧デモシヤウト云フ、サウ云フ風デアル、是ハ大變動ッテ居ル、嫁ヲ取ルト云ツテモ、ドウモ女ガナイト云フコトデアル、此事モ此前確カ申述べタヤウニ覺エテ居リマスガ、如何ニシテ此婦女子ノ都會地ヤ工業地ニ出テ行クノヲ足ヲ留メルカ、農村ニ足留メヲスルカト云フコトハ、是ハ餘程考フベキ問題デアルノデ、成ルタケ農家ノ婦女子ハ家ニ居ッテ、其手ヲ利用スルト云フ方ノ何カ仕事ヲ授ケナケレバイケナイト考ヘテ居ルノデアル、到底サウナクチャ留ツテ居リマセヌ、製絲ノ如キハ機械製絲ト云ウテ大變ナ人數デ以テ、人數ヲ入レテ採ルノモゴザイマスケレドモ、ソレモ矢張り適當ノモノト見テ居リマス、勿論、坐繰ト云フコトハ私ハ望ンデ居マセスケレドモ、近頃ハ小サイ製絲場ヲ立テテ、大抵養蠶家が寄ッテ組合製絲ト云フコトヲ始メテ居リマス、ソレガ二十人三十人採リ、或ハ五十人、マア多クテ百人位ノ所デ、モウソレカラ又上ノ製絲場ハ望マシクナイ、ソレハ村ニ立テテ村ノ者ガ組合ッテナルノデアル、サウナルト養蠶家ト製絲家ト一致ヲヤリマスカラソレハ宜シイ、斯ウ云フコトナドハ成ルタケ獎勵シテ、成立ツヤウニシテ、サウシテ農家ニコノ足ヲ留メテ、引留メテ置クヤウニシナクチャイケナイト考ヘテ居リマス、斯ンナコトハ是バカリニハ限リマセスケレドモ、ドウシテモ日本ノ工業ト云フモノハ……小工業デ以テ經濟ヲ維持スルト云フ風ノ組織デアリタイ、此養蠶業ハ、又製絲ハ必ズ後日ハ非常ナ競争ヲ受ケルカ、打撃ヲ受ケルコトハ、モウ大抵ノ者ハ言ウテ居リマセウ、即チ外國ニ於ケル人工絹絲ト云フ、是ガ大變日ニ月ニ進歩シテ參リマス、今日ハモウ洗濯ノ出來ルヤウナ織物モ出來ルト云フコトデアリマス、ソレダケ進ンデ來テ居ル、又餘リ艶ッポイノハ其艶消ノ法モ行ハレテ、日本人向ノ織物ナドモ大分出來ルヤウニナッタト云フコトデアリマス、ドコマデ進歩シテ行クカ分リマセヌ、縱令此人工生絲ヲ外ニシマシテモ必ズ支那國デモ是ハ養蠶ガ發達スルニ相違ナイ、サウ云フモノデアリマスカラシテ、餘程根本ヲ確ニ築キ上ゲテ行カナクチャ此競争ニ負ケテ仕舞フ、確ニ鞏固ニト云フノハ、ドウアルカト云フト、家庭的ノ工業デナクチャイケナイト見テ居ルノデス、即チ「ホームインダストリー」、是ナラバ私共ハ大抵ノ苦痛ニ堪ヘルト見ル、大キナ工業ニナルト、或場合ニハ便利

ナコトモアリマスケレドモ、困難ニ出遭ッテ、甚ダムヅカシイ、唯資本ガアル  
ト云フ切リノコトデ、資本資本デスルヤウナ工業ヂヤイカナイノデス、是ハ  
農業デモ其通りデ、農業ノ今日矢張り維持サレテ行クノハ、是ハ小農主義デ  
アルカラデアル、アレガ若シモ大農主義デアッテ、傭農夫ヲ入レテ、農業ヲ  
スルト云フヤウナ農業ナラバ、ソレハモウ今日ハ疾ウニ潰レテ居ル、又廢滅  
シテ居ルト言ッテモ宜シイノデス、非常ナ困難ニ陷ッテ居ル、此邊ノコトニ付  
キマシテ、如何、農商務大臣ハ御考ヘデアリマスヤ、何レ此議會デハ御提出  
ニナラヌデモ、次ノ議會デ御提出ニナルヂヤラウト考ヘテ居リマスカラシ  
テ、之ヲ申述ベテ、又豫メ御意見モ伺ヒタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリ  
マス、デ、全體ニ付キマシテ、先程モ申シマシタガ、日本ノ工業ハ、工業ノ種  
類ニモ依リマセウ、製鐵ダトカ、或ハ造船ダトカ云フヤウナコトヤ何カハ大  
工業ガ出來ナクチャイケマスマイガ、生産ノ工業ト云フモノハ、成ルダケ小  
サイ規模ノ工業ガ澤山出來テ、集約的ニ出來上ッタモノデナクチャ、今後ノ競  
争ニ堪ユルト云フコトガムヅカシイト考ヘマス、此邊ノ所ハドウ云フモノデ  
ゴザイマスカ、此邊ハ農商務省ニ設ケラレテ居ル經濟調查會ナドデハ勿論御  
研究ガナクチャナラヌコトト考ヘテ居ル、是ガ即チ國策デアラウト考  
ヘテ居ル、其邊ノコトモ伺ヒタイノデアアル、餘リ種々難多ナコトハ伺ヒマセ  
ヌガ、先ヅ此位ノ所デ一ツ御意見ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高橋是清君) 唯今、玉利博士カラ色々ノ御意見ガアリ、又御尋ネ  
ニナリマシタガ、第一ノ首相ニ對シテノ御質疑ハ今總理大臣ガ見エテ居リマ  
セヌ、併シ御質疑ノ要點ハ首相ノ施政演說中ニ於テ農村振興ノコトニ言及シ  
テ居ラス、豫テハ種々ノ手形ヲ世間ニ出シテ居ッタノデアアルカラ、其局ニ當レ  
バ、直チニ其政策ガ行ハレルヤウニ意見ガ定マッテ居ルノデアラウトニ其施  
政ノ方針ニ何等言及シテ居ラヌト云フ所カラ御尋ネニナッタヤウニ考ヘラレ  
ル、是ハ首相ノ演說ニモアリマスル通り所感ノ一端ヲ述ベタニ過ギナイノデ  
アリマス、而カモ此殖産興業ノコトニ互ッテ政策ヲ言ヘバ、事多岐ニ互ル、又  
今日ノ時勢ニ相當シタ所ノ研究調査ヲ要スルコトモ多クアルノデアリマス、  
決シテヤラヌト云フ考ヲ以テ演說中ニ殖産興業ノコトニ言及セシレナカッタ  
ノデハナイト私ハ信ジテ居リマス、又農商務省分離ニ關シテノ御意見デアリ  
マスガ、其御意見ノ根本ニ於テ少シク私ノ了解シ兼ネル所ガアル、玉利君ノ

御心配ニナル點ハ、現在ノ、或ハ從來ノ農商務省内ノ各局各課、又ハ個人關  
係ノ何カ其間ニ於テ軋轢等ノアルコトヲ根據トシテ御心配ニナルノデハナイ  
カト思ハレル、ト云フノハ、農工商工トハ相反スルモノデアアル、反對ノモノデ  
アルト云フ抑ノ御意見ラシイ、是ハ若シサウデアアルナラバ、遺憾ナガラ私ハ  
アナタト意見ヲ異ニスルモノデアアル、農商務省内ノ各局、或ハ各課ノ間或ハ個  
人關係ノ間ニ於テ其職務上ニ依テ相爭フ、相反スルト云フ事實ハ或ハ有ルカ  
モ知レナイ、ケレドモ國家ノ産業トシテ農工商工ト云フモノガ互ニ分レテ、サウ  
シテ利益相反スルト云フヤウナ譯ノモノデナイト私ハ考ヘテ居ル、之ヲ先刻  
カラ御述ベニナッタ養蠶ノコトニ付テモデス、今日外國貿易等ニ於テ全ク原料  
總テノモノヲ内地ニ産シテ、ソレニ依テ外國カラ六億前後ノ金ヲ取ッテ來ル  
モノハ生絲デアリマセウ、此生絲ヲ賣ッテ、外國カラ取ル所ノ金、之ヲ取ッテ來  
ル者ハ即チ商賣人デナリマス、而シテ取ッテ來タ金ハ商賣人ハ如何ニ此金ヲ散  
布シマスカ、是ハ矢張り製絲家ニ渡リ、製絲家ハ繭ノ代金トシテ農家ニ渡シ、  
農家ノ受ケタ金ハ農家ノ購買力トナッテ、又工業製造品等ヲ購買スルト云フヤ  
ウニナッテ、利害ノ相反スル譯ノモノデアリマセヌ、若シ農工商工トハ利害相  
反スルモノダ、農工商工カラ見レバ獅子身中ノ蟲デアルト云フヤウナコトヲ  
仰シヤルガ、若シ左様ノ御考ヲ以テ國策ヲ樹ッタナラバ殖産興業ノ發展スル途  
ハ無カラウト私ハ考ヘル、恐ラクハ是ハ農商務省内ノ或一部ノ弊害ヲ認メテ  
御立論ニナッタコトト想像スルノデアリマス、或ハ其一例トシテハ、今日世界  
ノ人口ノ僅ニ三分ノ一ニ足ラザル所ノ白色人種ガ、三分ノ二ノ人口ヲ有シテ  
居ル有色人種ヲ壓迫スルガ如クニ我ガ商工ガ農ヲ壓迫シテ居ルト云フヤウナ  
御議論デアアル、是ハ大ナル間違デアルト思フ、其一例トシテ或ハ火保問題ノ  
起ッタ爲ニ、農ニ何カ有益ナル施設デモアルモノガ妨ゲラレタ、或ハ地租輕減  
ノ論ガアッタガ、ソレガ地租委讓ト云フ問題ノ爲ニ行ハレナクナッタトカ云フ  
ヤウナ御說セアリマシタガ、私ハ此問題ニ付テハ失禮ナガラ玉利君ヨリ其眞  
相ヲ能ク承知シテ居ルト私ハ自ラ信ジテ居ル、決シテサウ云フ譯デナイ、地租  
輕減モ農村振興ニ餘リ效果ヲ奏セヌト云フノガ地租輕減ニ當時反對シタ理由  
ノ主ナルモノデアアル、一時ノ人氣取ノ政策ニハ宜カラウケレドモ根本カラ農  
村ノ振興ヲ圖ルニ今日地租ノ二分乃至二分五厘ノ輕減ヲ以テ是デ満足セシム  
ルト云フコトデハイカヌ、地租委讓ト云フノモ限ッタ問題デハナイ、根本ノ問  
題トシテハ、農村自治的共同ノ動作ヲ以テ自ラ醒メテ自ラ自分ノコトヲスル

ト云フ氣分ヲ作興シナケレバナラヌ、ソレニハ地方ニ相當ノ獨立ノ財源ヲ與ヘズシテ此氣分ヲ養フコトヲ求ムルコトハ無理デアルト云フ所カラシテ、地租ノ如キ獨立ノ財源ヲ與ヘルト云フ議論モ起ツタ譯デアリマス、私ハ今日考ヘル、今日初メテ考ヘル譯デアリマセヌ、從來農村ノ事ニ付テハ考ヘテ居リマス、今日全國ニ二萬前後ノ農會ト云フモノガアル、村農會ト云フモノガアル私ハ疑ツテ居ル、從來ヨリ村農會ト云フモノガ如何ナル働ラシテ居ルカ、全國ニ二萬カラアル所ノ村農會ガアツテ、其村農會ガ各、其村落ノ共同ノ利益ヲ舉ゲルニハ斯ウセニヤナラヌ、アアセニヤナラヌト云フ其聲ヲ聞カナイ、唯政府ニ向ツテ低利資金ガ欲シイ、或ハ農商務省ヲ分離ラシテ吳レロ、或ハ教育費ノ國庫補助ヲ増シテ吳レロ、唯金ヲ増シテ吳レロ、金ヲ吳レロト云フ聲ハ聞ク、而シテ果シテ是ガ全國二萬ノ農會カラ築キ上グラレタル希望デアアルノカ、中間ノ者ノ希望デアアルノカ、其邊、私ハ能ク確メテ居ラヌノデアリマスガ、如何ニモ農村ハ氣ノ毒デアリマス、在職中、或地方ノ村長ガ二十四五人運動ニ出テ來マシタ、其當時ニ教育費國庫補助ノ増額ヲスル爲ニ、各地方カラ村長ガ上京シテ、議會開會中ニ各大臣各方面ヲ訪問シテ運動シタ、議會開會中デアリマシテ十分ニ面會シテ話ヲ聽ク暇モナカッタデアリマスルガ、或地方ノ村長二十四五人參ツタ時ニ、幸ニ暇ガアリマシタカラシテ皆會ヒマシタ、頻リニ農村ノ困憊ノ模様ヲ懇ヘ、如何ニモ負擔ガ重イ、教育費ノ國庫補助ヲ増シテ貰ハネバ困ル、如何ニモ其懇ヘル所ノ事情ニ對シテハ同情ニ堪ヘナイ、併シ私ハ質問ラシタ、幸ニ地方カラ來タ村長ガ見エタラ豫テ聽カムト欲シテ居ルコトガアルカラ御尋ネスルガ、アナタ方ハ子弟ヲ學校ニ送り、學校ヘ行ツテ教育ヲ子弟ガ受ケルニ付テハ洵ニ有難イト云フ感ジガ起リマスカ、子供ガ學校ヘ行ツタ爲ニ有難イ、學校ガ有難イト云フ考ヲ起シマスカト尋ネマシタ所ガ、互ニ顔ヲ見合セテ答ガナイノデス、ソコデ私ハ尙ホ言葉ヲ碎イテ、有難イト云フコトハ、學校ニ行ク前ニハ自分ノ子供ガ親ヤ兄ノ言フコトモ肯カナイデ困ツタ、親ニ迷惑ヲ與ヘルノミデ親ノ手助ケト云フコトハ子供ナガラニ出來ベキコトヲモセナイ、所ガ學校ヘ行ツタ御蔭デ親ノ言フコトヲ能ク肯クヤウニナツタ、親ガ働イテレバ傍ヘ來テ子供相當ニ親ノ働ヲ手傳フト云フコトモシテ吳レルヤウニナツタ、實ニ有難イ、是デコソ學校ガ有難イト云フ感ジガ起ルカト云フコトヲ聽イタシタ、斯ウ尋ネマシタ、所ガソレハ九デ反對デアリマス、學校ヘ行ツテカラト云フモノハ、子供ハ家ヘ歸ツテ來ルト、先ヅ第一、親ヲ馬鹿ニ

シマス、鋤鍬ヲ持ツテ田畑ニ働イテ居ル親ノ仕事ヲ輕蔑シテ居リマス、自分達ハ學校ヘ行ツテ是カラ學問ヲシテ大キクナツタラ何デアンナ百姓仕事ヲスルモノカ、斯ウ云フ氣分デアリマス、親ノ手傳スルドコロデナイ、親ノ言フコトヲ肯クヤウニナツタドコロデナイ、親ヲ馬鹿ニスルヤウナ傾キガアル、ソレデ我我老人ハ茶吞話デ四五人集マツテ、自分達ノ子供ガ斯ウ云フ有様デハ我々ガ死ンダ後ニ誰ガ米ヲ作ルダラウカ、此有様デ進ンダナラバ段々米ヲ作ル者ガ居ナクナルダラウ、困ツタモノダト云フノガ我々老人ガ集マツテ茶ヲ吞ム時ノ坐談デアリマス、ソコデ私ハ驚イタ、ソレデ貴下方ハ學校ノ費用ヲ政府カラモツト出シテ吳レト云フ運動ニ出テオイデナスツタ、何デ有難クナイ學校ニサウ金ヲ注ギ込ムノカ、政府カラ取ル金バカリデ教育ハ進ミハセヌ、銘々一人ナラバ一人、二人ナラバ二人、ソレデケノ子供ガ學校ニ通ヘバソレデケ家庭ノ經濟ニ大ナル影響ヲ持ツ、公私トモニ自分達ノ金ヲ出シテ居ツテ、サウシテ其教育ヲ受ケテ其子供ガ受ケル所ノ教育ニ對シテ、却テ困ルト云フ感ジヲ持ツテ居リナガラ、何故此教育ニモット金ヲ入レタイト云フ感ジヲ持ツノデアルカ、所ガ、皆ガドウモ誠ニ結構ナ話ヲ承ハツタガ、我々ハ是キリ運動ハ致シマセヌ、國ニ歸ツテ今ノ御話ノコトヲ能ク相談ラシマスと言ツテ歸リマシテ、其中ノ四五人ノ人ハ歸ツテ後ニ私ニ禮狀ヲ寄越シタコトガアル、實ニ地方ノ人ハ質朴デアリマス、若シ全國二萬ニ達シテ居ル所ノ村農會ト云フモノガアツテ、此機關ガ其自治的ニ、此農村ヲ盛シニスルト云フ精神ヲ作興シタナラバ、極メテ適切ナ政策モソコニ樹ツモノデアラウト思フ、兎角中央ニ於テ學者ガ集マリ、高尚ナル理想ノ下ニ全國一律ニ布ク所ノ政策ヲ樹テ、法律ヲ設ケルト云フコトハ、既ニ教育ノ上ニ於テ、維新以來ノ弊ガ今日現レテ居ルヤウニ、矢張り劃一ノ制度ヲ全國ノ此農村ノ上ニ施シテ、サウシテ適切ナ效果ヲ舉ゲヤウト云フコトハ、私ハ不可能ト考ヘテ居ル、故ニ今後ハサウ云フ機關ト共ニ、中央ニ於テハ如何ニシタナラバ、農村ノ振興ガ出來ルカト云フコトヲ能ク調査シテ政策ヲ樹テ、此政策ガ樹ツテ、之ヲ遂行スル上ニ於テ、始メテ農商務省ノ分離ノ必要ガ起ツテ來ルノデアアル、玉利博士ハ今ノ農商務省ヲ分ケテ、農務省ト工務省ノ二ツニ役所ヲ分ケレバ即チソレガ政策ダト仰シヤル、併シ地方ニ於テ行フ所ノ政策モ定マラズ、唯役所ヲ二ツニ分ケテ局ヲ殖ヤシ、行政費ヲ殖ヤスト云フダケデハ意味ヲ成サスト私ハ考ヘテ居ル、成程、前内閣ニ於キマシテハ、農務省ノ獨立ハ、官制ノ上ノ計畫ハ立ツタ、豫算モ閣議デ決メラレタ

ヤウデアリマス、併ナガラ唯農商務省ガ二ツニナツテ、役人ノ數ガ殖エ、局ノ數ガ殖エ、行政費ガ殖エルト云フダケデ、之ニ依ッテ地方ノ産業ノ政策ニドウ云フコトガアルト云フコトハナイノデアリマス

〔御尤モ〕ト呼フ者アリ

ソレ故ニ私ハ先ヅ此特別議會ニ出スベキモノデハナイ、能ク研究ヲシテ、實ガ舉ガルヤウニスル、農商務省ノ分離ノ必要ハ、仕事ノ上カラ起ッテ來ナケレバナラス、其考ヲ以チマシテ、此特別議會ニハ提出ヲ見合セタノデアリマス、併ナガラ政府ノ今考ヘテ居リマス所デハ、政策ヲ樹テ、仕事ノ上カラノ必要ヨリシテ分離ヲスルヤウニ、來ル通常議會マデニハ出シタイト自分デハ考ヘテ居ルノデアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラモウ一ツ、甚ダ遺憾デアリマス、農學ノ大家ト云ハレル玉利博士ト意見ヲ異ニスルノハ、併ナガラ是ハ大家デアアルガ故ニ、意見ノ相違ハ相違デ明カニシテ置ク方ガ御互ノタメ、即チ其事業ノ爲ニ利益ナリト考ヘルカラ、遠慮ナク意見ノ違フ所ヲ申サウ、養蠶製絲ノコトニ付テ頻ニ御話ガアツタ、養蠶製絲業ハ家庭工業トスベキモノデアルト云フ、私ハ此土地ニ依ッテ生ズル所ノ、此即チ純農業、是ハドコマデモ集約的ニ行ハネバイカヌモノデアルト私ハ信ジテ居ル、併シ其農家カラ出タ所ノ物ニエラ加ヘルト云フ、加工ト云フコトニナリマシタナラバ、物ニ依ッテハ家庭工業デ濟ムモノガアルカモ知ラス、苟モ外國ノ商品トシテ出スト云フ物ニ於テハデス、家庭工業デハ外國ニ出テ是ハ商品デアアルゾト言ッテ誇ルダケノ資格ガ得ラレナイ、製絲家ト養蠶業、是ハ先刻御話ノ前内閣ノ農商務省ノ分離ノ際ニ於テ、養蠶ト製絲ト云フモノヲ分ケタ、是ハ宜シクナイト玉利博士ハ仰セニナル、私モ其點ハ同感デアアル、モウ繭ガ出來テ、ソレカラ後工ヲ加ヘル、製絲ニ至ッテハ工業ト云フカラ分ケタノデアリマセウガ、抑養蠶ト製絲ト云フモノハ、先刻御話ノ共存共榮、即チ利害ノ共通ノ組織ニシナケレバナラス、今日ノヤウニ、養蠶家ハ唯繭ヲ作ッテ高ク賣レバソレデ満足スル、製絲家ハ農家ノ窮迫ニ附ケ込ンデ出來ルダケ叩キ付ケテ、成ルベク安イ繭ヲ買フガ製絲家ノ利益ナリト考ヘル、斯ウ利害ガ衝突シテ居ッタンデハ、此養蠶製絲ガ安定スル譯ニ行カヌ、養蠶製絲ガ利害相反シテ常ニ動ク以上ハ絲價ノ安定ヲ得ルコトガ出來ナイ、絲價ノ安定ヲ得ナケレバ、海外ニ於テ日本ノ今日ノ生絲ハ危險物デアアルト云ハレテ、銀行家ハ今金融ヲ引緊メタ爲ニ亞米利加ノ機屋、製絲家ト云フモノハ殆ド半バ破産ノ狀態ニ赴カムトシテ居ル有様デ、

是等ノコトカラ考ヘマスト云フト、養蠶製絲ハ利害相反スルモノトシテ、之ヲ分ケルト云フコトハ無論宜クナイコトデアリマス、併ナガラ今日マデ玉利博士ハ商工ニ厚クシテ農ニ薄イト云フヤウナ見地、是モ農商務省限リノ何カ狀態カラサウ云フ御觀察ガアルドラウト思フ、併シ農商務省限リトシテ見テモ、今日養蠶ノコトニ至ッテハ隨分政府ガ力ヲ盡シテ居ル、種紙ノ種類モ段々減ッテ來マシタシ、桑ノ世話、微粒子ノ世話、殆ド此蠶ヲ飼ウ上ニ於テハ、恐ラク世界一、日本ハ政府ノ世話ニ依ッテ技術等モ進ンデ居リマセウ、唯缺點ハ其繭ガ製絲家ノ手ニ行ク間ニ於テ品質ヲ惡クスル、是等ハ作ッタ繭ヲ適當ニ乾カシ永ク保存ガ出來、製絲家ノ需要ニ依ッテ時々是ガ賣買ヲサレルト云フヤウナ組織ガ立タナケレバ、折角良イ繭ヲ作ッテモ、製絲家ノ手許ニ行ク間ニ、繭ノ質ガ惡クナルト云フヤウナ缺點ガアツテ、是ハ餘リ農ノ方ノ養蠶ノ方ニバカリ政府ガ從來力ヲ盡シテ、此出來タ所ノ繭ニ加工スルト云フ方ノ世話ガソコマデ十分ニ届カナイヤウニ考ヘル、是等ノコトハ利害共通シテ居ルモノデアアルカラ、其組織ニ依ッテ是カラ世話ヲシテ行カナケレバナラス、逆モ家庭工業デハ是ハ駄目ダ、今日デモ御承知ノ通り一釜ニ付テ一箇年三柵作ル製絲家モアル、中ニハ十柵位作ル製絲家モアル、是ハ何ニ依ルカ、繭ノ善惡即チ良否ガ大分サウ云フ關係ヲシマス、又技術、理化學、機械學、サウ云フヤウナ知識ノ足ラナイ所カラモ來マセウ、併ナガラ一釜デ以テ三柵作ルモノガ、是ガ技術ガ進ンデ六柵作ルヤウニナレバ、資本モ半分デ濟ム女工モ半分デ濟ム、使フ所ノ熱モ半分デ濟ム、詰リ生産費ガソレダケ安クナルト云フコトデアアル、故ニ唯金ヲ入レテ農家ヲ世話スルバカリデハナイ、サウ云フ點ニ於テ農家ノ收益ヲ殖ヤシテ、農家ノ負擔ヲ減ズルト云フ餘地ハマダ各方面ニ私ハアルト考ヘル、唯、一概ニ稅ヲ減ラスト云フヤウナコトバカリガ農家ノ救済ニハナラス、大體サウ云フ意見ヲ以テ私ハ自分ノ所管ノ事業ヲ是カラ進メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、唯御斷リシテ置クノハ、農ハ集約的ニ限ル、是ハ土地ヲ使フ上ニ於テ……出來タモノニエラ加ヘルニ付テハ、是ハ家庭工業デハイケナイ、矢張り一齊ニ安ク多量ニ作ッテ、海外ニ出スヤウニシナケレバナラス、多量ニ作り、一齊ニ物ヲ揃ヘテ作ルト云フ以上ハ、是ハ工場ノ組織デナケレバ出來ヌ、機械ヲ用キナケレバ出來ヌ、家庭ノ僅カノ人數デヤッテハ出來ナイ、デ製絲ト雖モ其通り、逆モ家庭ノ工業トシテ是カラ我國ノ製絲ヲ進メヤウト云フナラバ先刻御話ノ支那アタリノ製絲業ガ進ンダラ早速負ケル、

ソコハ遺憾ナガラ玉利博士ト私ハ根本ニ於テ意見ヲ異ニシテ居ルコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○玉利喜造君 此席カラ、チヨット言ヒ殘シタコトガアリマスカラ、發言ヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○玉利喜造君 先ヅ第一ニ農商務大臣ノ御演說デ以テ、誠ニシカッリト拜聴イタシマシタコトハ、次ノ議會ニハ必ズヤ農務省獨立案ヲ提出スルト云フ御言葉ガアツテ、誠ニ何トモ言ハレヌヤウナ感シヲ以テ耳ノ中ニ這入ッテ、實ニ喜バシウ存ジマス、次ニ私ノ述べマシタ趣意ニ付キマシテ、少シ御了解ノ違ッテ居、ヤウナ所モアルノデアリマス、ソレハ利益ノ衝突ハ無論致シマスケレドモ、先程申上ゲマシタ通り、養蠶製絲ノ所デ申上ゲテ置キマシタガ、是ハ前内閣ノ作ッタ案デハ、製絲業ト養蠶業ト相對シテ別ニシテヤラレテ、サウシテ相對スル方ガ宜シイト言ヒマスケレドモ、ソレハサウヂヤナイ、ドウシテモ、一ツニシテ共存共榮ト云フコトニシテ行カナクチャイカヌト云フコトヲ申上ゲタ所デ御分リニナッタラウト考ヘテ居ルノデアリマスガ、強チ工商、農工ハ反對ダト云フコトニシナイデ、出來ルダケソレヲ取入レテ、共ニ發達シテ行カウト云フコトニアルノデアリマス、殊ニ養蠶ナドニ於キマシテハドウシテモサウアリタイ、此蠶絲業ノコトニ付テハサウアリタイノデアリマス、ソレデ此點ガ甚ダ拙劣ダト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ドウモ反對ノ地位ニ置カウト云フ說ガアルノデアリマス、ソレカラ無論、獅子身中ノ蟲ト云フコトハ申シマシタガ……ソレカラ此製絲ノ方ハ斯ウ云フ機運ニアルカラト云フコトデ、ソレハ工業デシカリトヤラナケレバイカヌ、ソレナコトハ申殘シテ置イタノデアリマス、組合製絲ト云フモノモアリマスカラ、ソレト聯合イタシマシテ、サウシテ中央ニ又適宜ノ場所ニ製絲家ヲ寄セテヤリタイ、サウ云フヤウニシテ協同ノ働キヲスルノデ、サウスルト其品物ガ一致スル、無論、繭ノ種類カラ、絲ノ取方カラ、ソレハ皆矢張り聯合シテヤラナケレバナラヌ、ソレヲ製絲屋ト云フ方ニヤラセテ、サウシテ協同シテ同様ノモノヲ作り出サウト云フ、サウ云フ方法ハ勿論立ッテ居ル、ソレダ全國ノ絲ノ出來ル釜ノ數デアリマス、釜ノ數ノ一割ダケハ其組合製絲業デヤッテ居ルト云フコトデアリマス、成ルダケサウ云フモノヲ獎勵シテ、サウシテ相對シテ今ノヤウナモノヲバ或所ニ寄セテヤッテ、サウシテ同ジ「マーク」デモ「レットル」デモ附

ケテ、ソレナヤウナコトデ矢張り出來ルコトニナル、又實際ヤッテモ居リマセウ、ソレナヤウナコトハ申落シマシタカラ……ソレデ大臣ノ御演說ハ誠ニ穿ッタ御言葉デアリマシテ、此方デ農務省ガ出來ルナラバ必ズ出來ルダラウト思フ、同様ニ同ジ省内デ以テ養蠶モ製絲モ一ツニシテ取扱ヲ行ッタナラバ、縦シ不利ナコトガ今マデ製絲家ノ方ニアッタニセヨ、其省ガ農務省デアリマスカラシテ、農ノ方デ以テソレヲ能ク直シテ行ク、自分ノ農務省設立ヲ望ムノハ、農務省ガ出來タナラバ農務省全體ガ百姓ノ空氣ニナッテ貰ヒタイ、斯ウ云フ積リナノデアリマス、百姓的ニ働イテ貰ヒタイ、斯ウ云フ積リデアル、ドウモ色々ノ又工トカ商トカ云フコトニ關係ノ方ガアツテハ、サウ云フ譯ニ參リマセヌ、ソレデ縱シ反對ノコトガアツタナラバ、ソレガ製絲家製絲工場ノ方デアラナラバ、ソレハマア農業的ニ見テ行キマスカラシテ、ソレデ以テ其方ガ調停ガ出來ルト云フ積リデアル、其處ヲ主張スルノデアリマス

○山内佐五兵衛君 私ハ最早時日モ迫ッテ居リマスカラ極メテ簡單ニ、先日來施政方針ニ付テ色々ノ御質問ガアツテ、稍了解シ得タヤウニ思ヒマスガ、未ダ了解セヌ所ガアリマスカラ質問イタシタイノデアリマス、質問シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 山内君ニ御尋ヲ致シマスガ、國務大臣ノドノ大臣ニ對スル御質問デゴザイマスカ

○山内佐五兵衛君 極ク簡單ニ……

○議長(公爵徳川家達君) 簡單デモ、ドノ大臣ヘ對スル御質問デゴザイマスカ

○山内佐五兵衛君 內務大臣ニ私ハ此綱紀肅正ト云フコトニ付テ質問イタシタイ、ソレカラ……

○議長(公爵徳川家達君) 山内君ノ御議席ハ大分國務大臣席ト距離ガ遠ウゴザイマスカラ質疑ノ明瞭ニナル爲ニ御登壇ヲ望ミマス

(山内佐五兵衛君演壇ニ登ル)

○山内佐五兵衛君 私ガ甚ダ言葉ガ惡イ、併ナガラ私ノ質問スル要點ダケハ一ツ申上ゲルカラ其點ニ付テハ御了解ヲ得テ置キタイ、此國務大臣ニ質問スル要點ハ綱紀肅正ト云フコトヲ能ク言ウテ居ル、行政財政整理ト言フ、私ガ今回ノ現内閣ハ在野ニ居ッタ時分ハ消極ニシテ積極ニ出ヌ、總テハ公平ニヤルト云フコトハ確ニ信ジテ居ッタカラシテ、今回幸ニ加藤首相ガ内閣ニ就カレタト云フコトハ私ハ謹ンデ國務大臣トシテ拜シ又敬服イタス次第デアアル、然

ルニ綱紀肅正ト云フコトハ抑、私ガ、明德ヲ明カニシテ國臣ノ才能ノアル方ヲ能ク用キテ國家ニ立ツテ國民ヲ安心セシメルト云フコトハ、私ハ確ニ綱紀肅正、行政整理、財政……行政財政整理ノ本體ダラウト思フ、思フドコロデナイ、確ニソレニ相違ナイ、然ルニ今回内閣ヲ組織スルニ……加藤内閣ヲ組織スルニ當リマシテハ役人ノ更迭、大斧鉞ヲ以テ更迭セシメテ居ルヤウニ思フ、抑、私ハ決シテ綱紀肅正ト云フモノハ役人ヲ濫リニ更迭セシメ、濫リニ大斧鉞ヲナスト云フコトハ綱紀肅正ノ本旨デナイダラウト思フ、必ズ潰職、職ヲ紊シテ居ルモノトカ、色々ナサウ云フモノヲ正シクスルノガ綱紀肅正デアラウト思フ、然ルニ我が青森縣ニ至リマシテハ知事ヲ、未ダ就職七日以内ニ知事ヲ更迭セシメ、未ダ職ニ就カズ各官衙モ訪問セザル内ニ更迭ヲセシメルト云フノハ何ノ缺陷ガアツテ斯ノ如クニスルノカ、抑、知事ヲ採用スルニ當リマシテハ畏レ多クモ勅裁ヲ得テ而シテ後更迭セシムルモノダラウト思フ、ソレニモ拘ラズ、未ダ職ニモ就カズ、何ノ缺陷アツテ知事ヲ斯ノ如ク更迭スルカ、單リ知事ノ名譽、不名譽バカリデナイ、縣民ニ至ッテハ如何ニ不安心ニ思フノデアルカ、知事ハ即チ我々ハ殿様ト思ウテ居ル、宜シク其事業ノ興廢ハ其知事ノ雙肩ニ懸ルコトト思フ、ソレニモ拘ラズ、職務ニ就カズシテ七日間ニシテ罷メサセルト云フノハ、是ハ即チ綱紀肅正デアリマス、否、決シテ綱紀肅正デアリマセヌ、即チ其縣ノ事業ノ興廢ヲ顧ミズ、又畏レ多クモ勅裁ヲ慎マズシテ居ルト云フコトハ抑、綱紀肅正ノ實ガ舉ガルモノト思フカ、甚ダ國民ヲ欺イテ居ル現内閣ノ處置デアラウト思フ、之ヲ以テ綱紀肅正ト云ウテ色々ニ言フケレドモ、昨日モ阪谷男爵ノ言ハレル如ク、今度ハ綱紀肅正、行政整理ト云フコトハ今マデハ能ク口ニハ言フケレドモ今度こそハ實現スルデアラウ、實現スルノ責任ガアルト言ハレテ居ル、然ルニ豈圖ラザルモ又大斧鉞ヲ以テ綱紀肅正ナドト云フ誤解ヲセシメテ國民ノ甚ダ不安ニ置クト云フハ此綱紀肅正ノ名ニ反スル、又行政整理、財政整理、政務官ヲ置イテ行政整理ト云フモノカ、財政整理ト云フモノカ、今マデノ何十年トナク次官ヲ以テ組織シテモ何ノ不都合ガナイ、ソレニモ拘ラズ要ラザル金ヲ掛ケテ各省ニ政務官ヲ又置クト云フコトハ、是ハ行政整理ノ實ガ舉ガツテ居ルノデアルカ、唯今モ農商務大臣ノ言ハレル如ク、金バカリ掛ケテハ決シテ行政整理デナイ、ソレガ故ニ暫ク農務省ノコトモ見合セルト云フ、併ナガラ農商務省ニソレナラバ政務次官ヲ設ケナイカ、豫算ヲ見ルニ四千幾百圓ノ政務次官ヲ設ケテアル、名ト實ト皆反對シテ居ル、先達

テ高橋總裁ハ政友會ノ總裁ノ時分ニ東北即チ秋田ニ參リマシテ、今度ハ東北ノ開發ノ時機デアルカラ、官民一致シテ必ズヤル、斯ウ云フ總裁ノ演說ガアル、大イニ我々敬服シタ、今ヤ東北ノ事業ノ開發デアル、誠ニ私共ハドウモ其恩典ニ浴スルト云フコトハ誠ニ喜バシイ、幸ニモ今回農商務大臣ニモナリマシタナラバ、今度ハ政費節減デナク澤山金ヲ掛ケマシテ色々官民ヲ一致スルノ餘地ナカラシメタ、何故カナルナラバ七日間デ知事ナドヲ更迭セシメテ、ドウシテ官民一致ト云フ實ガ舉ガリマス、此事ニ付ラモ唯今モ大イニ農務省ヲ置カナイノハ經費ヲ節減シテ段々ト國民ノ利益ヲ圖ラナケレバナラス、口ニハ言ウテ居ルケレドモ其實ヲ舉ゲナイ、皆言行不一致デアル、誠ニ私共ハ是デ安心ガ置カレヌカラシテ綱紀肅正ト云フノハ何レニ依ルカ、昨日モ或人ノ話ヲ聞キマスレバ、或役人ヲ、御前ハ確ニ此事ニ通ジテ居ルケレドモ此度ハ已ムヲ得ヌカラシテ御前ハ辭シテ吳レヨ、併ナガラ事業ハ、事務ハ御前ニ囑託ヲスル、サウ云フコトヲスルト云フノハ甚ダ宜シクナイ、立憲政體ノ實ヲ舉ゲムトスレバ各ノ才能技術ヲ大イニ社會ニ運用セシメテ以テ答フルノハ、即チ立憲政體ノ實ヲ舉ゲル、立憲政體ノ内閣ト云ウテモ差支ハナイ、所謂護憲三派ノ内閣ト云ウテモ差支ナイ、大イニ此智能ガアルト云フノヲ思ヒツツ用キヌト云フノハ、國家的ノ觀念デアルカ、黨派的ノ觀念デアルカ、實ニ危險極マツ内閣デアルト思フ、冀クハ私ハ決シテ黨派的デモ何デモナイ、愛國ト云フ一念カラシテ宜シク人ノ技能ヲ用キ、宜シク我國民ヲ安心セシムルヤウニ願ヒタイト思フ、然ルニ之ニ反對ニ綱紀肅正ト云フノ實ト、行政整理ト云フノ實ガ無イ、私ハ國務大臣ノ責任アル說明ヲ請ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今、山内君ノ御質問ハ先般行ハレタ地方長官ノ更迭ニ付テ御尋ネニナッタコトト思ハレルノデアリマス、現内閣ハ政治ノ公正ト云フコトニ最モ重キヲ置イテ居リマス、政治ヲ公正ニシナケレバナラヌト云フノガ主張ノ大イナルモノデアアルノデアリマス、是ガ爲ニハ役人ガ眞面目ニ勤クト同時ニ、能率ヲ一バイニ發揮シテ治績ヲ舉ゲシメルヤウニシヤウト云フノガ私共ノ努メテ居ル所デアリマス、是ガ爲ニ必要トスル所ノ地方長官ノ更迭ヲ過般實行シタノデアリマス、過般實行イタシマシタ地方長官更迭ノ理由ガ何處ニ在ルカト云フ御尋デアリマスレバ、唯今申上ゲル趣意ニ出デテ居ルノデアリマス、政務次官ト云フモノヲ置クト云フコトニ付テ政費節

約ト云フコトト相反スルト云フヤウナ御意見ノヤウデアリマス、政府ハ政務官ト事務官ノ區別ヲ十分ニ立テテ、内閣ノ更迭ノ度毎ニ事務官ノ上ニ動搖ガ起ツテ、ソレガ爲ニ事務ノ統一ヲ缺キ連絡ヲ紊ルト云フヤウナコトノナイヤウニシタイト云フガ爲ニ、此度、政務次官ト云フモノヲ作ツテ、内閣ト共ニ進退スル者ハ内閣ノ方針ヲ以テ國務大臣ト共ニ其政策方針ヲ聲明シ實行スルノ任ニ當ツテ居ル者ノミガ進退ヲシテ、事務官ハ政變ノ度毎ニ動搖セナイヤウニシヤウト云フノガ今回ノ政務次官ヲ設ケル所以デアリマス、之ガ爲ニハ少々ノ費用ガ増シマシテモ、國務ノ能率ヲ發揮サセル上ニ於テハ非常ナル效果ガアルト存ジテ居リマスカラ、是ハ決シテ整理ノ目的ニ反スルモノデアリマヌ、唯今、山内君ハ今マデノ次官ハ永イ經驗ヲ有ツテ立派ニ仕事ヲシテ居ルノニ、ソレヲ罷メテ政務次官ヲ拵ヘルト云フノハ惡イト云フヤウナ御意見ノヤウデゴザイマシタ、政府ガ政務次官ヲ作ルノハ即チ慣レテ居ル立派ナ堪能ナル次官ヲ成ルベク永ク其職ニ居ラシメテ事務ノ連絡統一ヲ欲カヌヤウニサセヤウト云フガ爲デアリマス、然ルニ今日ノ如ク事務次官デアルベキ次官ガ特別任用ニナツテ居ッテ、内閣ノ變動ノ度毎ニ是ガ辭職ヲセンケレバナラヌト云フノデハ、洵ニ行政官ノ地位ガ薄弱デアッテ、内閣政變ノアル度毎ニ、官吏ハ非常ナ不安ノ念ヲ抱クノミナラズ、慣レタ次官ガ無イ、其後ニハ、前ノ仕事ハチットモ知ラナカッタ者ガ代ッテ次官ニナリ、事務ノ統一連絡ヲ缺クコト甚シイノデアリマス、ソレヲ匡シテ、政務次官ノミガ内閣ト共ニ更迭ヲシテ、事務ノ次官ナルモノハ、チャンスト如何ナル内閣ガ出來テモ、ソレガ爲ニハ罷メルコトノ必要ガ無イヤウニシテ、政務ノ統一、事務ノ連絡ヲ取ツテ行カウト云フノデアリマスカラシテ、政府ハ是ハ行政整理ヲスル上ニ於テ第一ニ考ヘナケレバナラヌ點デアルトシテ、政務次官ノ設置ト云フコトヲ唯今計畫ヲシテ、間モナク諸君ノ御協賛ヲ求メムトシテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、日程第一、非常徵發令廢止ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

非常徵發令廢止ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

右特別委員長  
侯爵 鍋 島 直 映

貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔侯爵鍋島直映君演壇ニ登ル〕

○侯爵鍋島直映君 非常徵發令廢止ニ關スル法律案ヲ付託ニナリマシタル特別委員會ノ經過ニ付テ極ク大略ヲ御報告イタシマス、委員會ハ去ル二日ニ開會イタシマシテ、政府委員ノ御説明ヲ聴取イタシマシタ、ソレニ依リマス此非常徵發令ハ大正十二年九月一日ノ大震災ニ基ク被害者ノ救済ノ爲ニ憲法八條第一項ニ依ツテ緊急勅令ヲ以テ發布セラレタモノデゴザイマス、ソレデ其必要ノ有ル間之ヲ繼續スルト云フコトヲ第四十七議會ニ於テ承認ヲ經テ居ルモノデアル、併シ其後段々其必要モ減ジ唯殘務ガ殘ツタゲデアッテ本年ノ四月ニハ既ニ事務ノ終了ヲ……完了ヲ告ゲテ居ル譯デアル、ソレ故、之ヲ廢止スルニ際シ法律案トシテ本議會ニ提出シタ譯デアル、ト云フノガ政府委員ノ御説明デアリマス、之ニ付キ二三委員ノ方ヨリ御質疑モゴザイマシタ、ソレハ徵發ノ手續及其始末、大阪ニ於ケル自動車用ノ石油ノ徵發ニ付テ其手續ニ間違ッタコトガアルトカ何トカ云フ風聞ガアルガ、是ハ事實デアルカト云フヤウナ御質問デゴザイマシタ、又神奈川縣ニ於テノ外國米ノ掠奪事件ガアッタカ云フ其實ニ付テモ御質疑ガゴザイマシタ、其取扱上徵發シタ所ノ手續、後始末ニ付キ御質疑ガゴザイマシタ、之ニ對シテ政府委員ニ於テハ、是ハ皆圓滿ニ解決シテ居ルト云フ御答、又其他ニ非常徵發令ハ一度議會ニ承認ヲ經タモノデアルカラ、再ビ之ヲ廢止スルニ際シ議會ニ法律案トシテ提出スルト云フノガ政府ノ意志デアッテ、其必要ガ有ルカ無イカ、將來ニ於テ何カ政府ノ方ノ考ハ有ルカ、ト云フヤウナ御尋モアリマシタガ、之ニ對シテハ政府ノ方デモ、緊急勅令ヲ以テ發布シタル所ノモノハ、場合ニ依ッテハ勅令ヲ以テ廢止スルコトモアルガ、元來、緊急勅令ヲ以テ發布シタルモノハ議會ノ承認ヲ經ルト云フコトニナツテ居ルカラ、此徵發令ニ於テモ矢張り法律案トシテ議會ニ提出スルガ至當ト認ムルト云フ意見ヲ有ツテ居ルト云フ御答デアリマシタ、茲ニ於テ……是ハ極ク大略ナ報告デゴザイマスガ、速記録ガ出テ居リマスカラ詳シイコトハ速記録ヲ御覽ヲ願ヒタウゴザイマス、茲ニ於テ質疑ヲ打切りマシテ審議ノ末、全會一致ヲ以テ原案ヲ可決イタシマシタ次第デアリマス、右御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言モ無イト存ジマスカラ本案ヲ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ休憩ヲ致シマシテ午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後零時一分休憩

午後二時一分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

本日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

藥品營業並藥品取扱規則第四十六條第一項ノ適用ニ關スル法律案

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ送付セリ

非常徵發令廢止ニ關スル法律案

本日常任委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

資格審査委員會

委員長 伯爵松平 頼壽君

副委員長

荒川 義太郎君

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、午前ニ於テ議長ニ御一任ニ相成リマシタ松方公薨去ニ付キ同家ヘ弔詞ヲ贈リマスニ付キマシテ、弔詞ヲ起草イタシマシタカラ、是ヨリ諸君ノ御意見ヲ伺ヒマス

貴族院議員從一位大勳位公爵松方正義君ハ國家ノ元勳ニシテ皇猷ヲ翊賛スルコト多年財政ヲ整ヘ幣制ヲ革メ以テ國運隆昌ノ基ヲ立テタリ今ヤ溘焉トシテ薨去セラル哀悼曷ソ勝ヘム貴族院ハ茲ニ恭シク弔辭ヲ呈ス  
唯今議長ノ讀ミマシタ弔詞ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

總員起立

○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メマス、此弔詞ハ本日松方公爵家ヘ贈ルコトニ取計ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵

○伯爵林博太郎君 唯今配付サレマシタ追加豫算ヲ本會ニ付議スベシト云フ動議ヲ提出イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ノ唯今衆議院ヨリ受領イタシマシタ追加豫算審査期限決定ノタメ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 内閣總理大臣

(第四號)大正十三年度歳入歳出總豫算追加案  
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十三年七月五日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 粕谷義三

〔國務大臣子爵加藤高明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵加藤高明君) 諸君、從一位大勳位公爵松方正義君ノ薨去イ  
タサレマシタコトハ、私ノ諸君ト共ニ哀悼ノ情ニ堪ヘザルコトデアリマス、  
同公爵ハ維新當時國事ニ盡瘁セラレ、由來要職ニ歷任セラレマシテ、再度マ  
デ大政變理ノ任ニ當リ、又久シク内大臣トシテ常侍輔弼ノ重任ニ任セラレタ  
ノデアリマス、殊ニ財政ノ局ニ當ラレコト前後二十餘年、其間、或ハ諸般  
ノ整理ヲ決行セラレ、或ハ幣制稅制等、諸般ノ制度ヲ確立セラレ、其君國ノ  
爲ニ致サレタル功績ノ偉大ナルコトハ、今更申述ブルマデモナイ所デアリマ  
ス、政府ハ此國家ノ柱石タル元勳ニ對シ國葬ノ禮ヲ以テスルコトヲ至當ト認  
メマシタ、同公葬儀ニ要スル經費四萬圓ヲ大正十三年度追加豫算トシテ要求  
イタシタ次第デアリマス、何卒本豫算ニ對シマシテ、諸君ニ於カセラレテ速  
ニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切ニ希望イタシマス

○伯爵林博太郎君 右豫算ノ審査期限ハ、豫算委員會ノ議事終了次第ニ報告  
シタイト云フ動議ヲ提出イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 林伯爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、暫ク休憩ヲ致シマス  
午後二時六分休憩

午後二時二十七分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

本日豫算委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)可決報告

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、林伯爵

○伯爵林博太郎君 是ヨリ日程ヲ變更シテ第四號大正十三年度歳入歳出總豫  
算追加、之ヲ議ニ掛ケラレムコトノ動議ヲ提出イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 林伯爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセ  
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ大正十三年度歳入歳出總豫算追加案第四號  
ノ會議ヲ開キマス、豫算委員長ノ報告ヲ求メマス  
一大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ  
ト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月五日

豫算委員長

伯爵 林 博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 是ヨリ第四號大正十三年度歳入歳出總豫算追加、即チ松  
方公爵ノ國葬豫算ニ關スル豫算委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、  
豫算委員會ハ本日午後開キマシテ、唯今終了イタシマシタ、此豫算額ハ御手  
許ニアリマスル通り四萬圓デゴザイマシテ、大藏省ノ臨時部第二十六款ニ計  
上サレテアルノデアリマス、貴族院議員大勳位公爵松方正義公ハ夙ニ勤王ノ  
志厚ク、維新ノ際ニ於テ勤王ノ志士ト交リマシテ而シテ明治ノ大業ヲ輔ケラ  
レタデアリマス、公ノ官歴ハ頗ル長イモノデゴザイマシテ、先ヅ明治元年  
日田縣知事ニ任セラレマシテ以來、明治四年ニハ大藏省權大丞トナラレ、引續  
キマシテ租稅權頭ニ任セラレテ、明治八年カラ十三年春マデ大藏大輔トシテ  
財政ノ任ニ當ラレタノデゴザイマス、御承知ノ如ク西南ノ役後、我國ノ財政  
ハ頗ル多難ノ時ニ際シテ居ッタノデアリマス、之ヲ整理サレマシテ、我が國力

ノ増進充實ヲ圖ラレタノデゴザイマス、公ハ多方面ニ於テ國家ニ盡瘁セラレタノデアリマシテ、赤十字社ノ如キニ至ルマデ盡瘁サレテ居ルト云フコトハ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、併ナガラ殊ニ財政ノ方面ニ偉功ヲ立テラレタト云フコトハ諸君ノ既ニ知ツテ居ラルル通りデゴザイマス、大正六年ニハ内大臣トナラレテ輔弼ノ職ニ當ツテ優渥ナル勅語ヲ賜ハリ、又大正十一年ニハ内

元勳トシテ 先帝陛下 今上陛下ノ御信任厚ク、邦家ノ爲ニ永ク盡瘁サレタノデゴザイマス、過般一度重態ニ陥ラレマシタノデアリマスガ、幸ニ快癒ニ向ハレルト云フ報ニ接シテ國民ハ一奇蹟ナリトシテ喜ンデ、長ク天壽ヲ保タレテ邦家ノ爲ニ盡サレムコトヲ望ンデ居タノデアリマス、昨年震災以後ニ於キマシテ殊ニ財政上ノ復興ニハ公ヲ煩ハスコトガ多クアルノデゴザイマス、然

ルニ再ビ危篤ニ瀕セラレマシテ遂ニ去ル二日薨去セラレタノデゴザイマス、我が國家ノ爲ニ大損失デアアルコトハ是ハ國民ノ一同ト共ニ感ズル次第デゴザイマス、公ノ功績ハ赫々トシテ國民ノ忘ルベカラザルモノガデゴザイマス、此際、國家ガ此偉人ノ薨去ニ對シマシテ國葬ノ禮ヲ以テスルト云フコトハ蓋シ當然ノコトデアアルト考ヘラレタノデゴザイマス、此豫算總會ニ於キマシテハ

此理由ニ依リマシテ全會一致ヲ以テ此國葬豫算ハ可決サレマシタ次第デゴザイマス、豫算總會ニ於キマシテ一質問ガ出マシタ、即チイツモハ國葬費ト云フモノハ尙ホ多額デアアルノニ今回ノハ特ニ少額デアアルト云フコトハ、松方公

爵生前ノ意志ニ依ラレ、又遺族ノ意志ニ依ラレテ斯クセラレタノデアアルカト云フ質問ガデゴザイマシタ、之ニ對シテ政府ハ其通りデアッテ國家多端ノ際ニ於テ國費ヲ多額ニ使フト云フコトハ畏レ多イノデアアルカラ、成ルベク是ハ節約ヲシテ賁ヒタイト云フ内意ガアッタノデ、ソレヲ酌ミマシテ斯ク計上イタシタ次第デアアルト云フコトデゴザイマス、右ノ通りデゴザイマシテ、此國葬

豫算ハ可決ニ相成リマシタ次第デゴザイマス、茲ニ御報告ヲ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 追加豫算案全部問題ニ供シマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

總員起立

○議長(公爵德川家達君) 全會一致ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ

關スル條約ノ實施ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告  
大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月三日

右特別委員長

伯爵 副島 道 正

貴族院議長公爵德川家達殿

(伯爵副島道正君演壇ニ登ル)

○伯爵副島道正君 大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此法律案ハ去ル二日特別委員會ニ付セラレマシテ、特別委員會ヲ三日ノ日ニ開會イタシマシタ、十時ヨリ十二時ニ至ル二時間ノ間、極メテ慎重ニ審議ヲ致シマシテ、遂ニ滿場一致、可決スルコトニナッタノデアリマス、本案ハ頗ル簡單ノヤウデアリマスガ、事、華府會議ニ關スルコトデアッテ、世界ノ平和、我國ノ安寧ニ關スル所ノ海軍條約ニ關スル所ノ法律案デアリマスルガ故ニ、委員會ニ於テハ頗ル慎重ニ審議ヲ致シマシテ、或ハ司法省、或ハ外務省、或ハ海軍省ノ政府委員ノ説明ヲ求メ、或ハ政府委員外ノ外ノ人々ノ説明ヲ求メテ、十分ニ慎重審議シ、遂ニ可決シタ次第デゴザイマスガ、今簡單ニ其經過ヲ申上ゲマスレバ、先ヅ政府委員ノ説明ニ曰ク、本法律案ハ海軍條約ノ結果、其必要ヲ生ズルヤウニナッタノデアアル、即チ海軍條約ノ第五條ニ依レバ、排水量三萬五千噸ヲ超エル所ノ主力艦ト云フモノハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ建造シ又ハ建造セシメ、又ハ其法域内ニ於テ建造スルコトハ許スコトガ出來ヌト云フコトニナツテ居ルノデアアル、又第六條ニ於テ口徑十六吋以上ノ重砲ハ禁ゼラレテ居ル、又九條ニ於テハ二萬七千噸以上ノ航空母艦ト云フモノハ禁ゼラレテ居ルノデアアル、又十條ニ於テハ航空母艦ノ備砲ヲ制限サレテ居ル、其外ノ條項ニ於テ種々ノ禁止或ハ制限ガアルノデアッテ、殊ニ第十四條ニ於テ商船ヲ軍艦ニ變更ヲスルト云フ目的ヲ以テ平時ニ之ヲ武裝スルヤウナ準備ヲ禁ジテアルノデアアル、又第十五條ニ於テ非締約國ノ爲ニ建造スル所ノ軍艦ニ就テモ規定スル所ガアルノデアアル、帝國政府ハ華府會議ニ於ケル此重要ナル所ノ海軍條約ノ精神ヲ尊重スル意味ニ於テ此法律案ヲ提出シタノデアアル、是ガ海軍當局者ノ説明デゴザイマス、政府委員ノ説明ガ終リマスト直チニ質問ニ移リマシタガ、

或ハ軍事上、或ハ法律上、或ハ其他ノ方面カラ入組ンタル所ノ質問ガゴザイマシタガ、遂ニ滿場一致、可決ニナッタノデゴザイマス、而シテ其質問ニ至ッテハ隨分澤山ゴザイマシタガ、今日既ニ諸君ノ御手許ニ速記録ガ渡ッテ居ル次第デゴザイマスカラ、極メテ簡單ニ御報告申シマス、其一二點ヲ申上ゲルコトニ致シマス、第一ハ本法法律案ハ現在建造サレテ居ル所ノ軍艦ニ適用スルカ否ヤト云フ質問ガアリマシタガ、之ニ對シテハ固ヨリノコトデアル、併ナガラ現在ニ於テハ此法律案ヲ適用スルト云フ軍艦ハ建造サレテ居ラヌノデアアル、斯ウ云フ答デアアリマシタ、其次ガ海軍條約中ノ所謂法域内ニ關東州モ含ムノデアアルカ、固ヨリ含ムノデアアル、而カモ委任統治ノ地域モ含ムノデアアル、併シ之ニ對シテハ別ニ勅令ヲ以テ定メル所ガアルト云フヤウナ答デアアリマシタ、其次ノ質問ガ可ナリ長イ質問デゴザイマシタガ、第一條ノ二ノ船舶ヲ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ之ニ武裝ヲ施シ又ハ武裝ヲ施ス所ノ準備ヲナスコトトアルガ、海軍條約ノ第十四條ニハ、單ニ「商船ハ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ平時之ニ武裝ヲ施スノ準備ヲ爲スコトヲ得ス」トアルノデアアル、サウスレバ本法ノ第一條ニアル所ノ武裝ヲ施シト云フ言葉ハ餘計ナモノデアアル、即チ自己ヲ束縛スル所ノモノデアアツテ、換言スレバ海軍條約規定以外ノコトヲ規定スルノデアアルガ、斯ノ如キ必要ガ何處ニアルカト云フ質問デアリマス、ソレニ對シテ政府委員ハ、武裝ヲ施シト云フコトハ之ヲ準備スルト云フコト以上ニ禁ズベキモノデアアツテ、華府會議ノ精神ニ十分ニ是ハ合マレテ居ルノデアアル、故ニ之ヲ明カニ述ベタニ過ギヌト云フヤウナ風ナ答辯デアッタト心得マス、其次ガ第一條ノ末項ハ其文句ガ餘リ長過ギルノデ非常ニ廻リ諄ク書イテアルノハドウ云フ譯デアアルカ、何ノ必要ガアルカト云フ質問デアリマシタガ、之ニ對シテ政府委員ハ本項適用ノ順序トシテ斯ク規定スル必要ガアルト云フ答デアリマシタ、其次ニ第一條第一項ノ規定ハ極メテ簡單デ、其行爲ト云フモノハ大ナル行爲デアアル、然ルニモ拘ラズ其刑量ニハ非常ナ差異ガアル、第三條ノ末文ニ二年以下ノ懲役若クハ禁錮、又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處スト大變開キガアルガ、是ハドウ云フ譯デアアルカト云フ質問デアリマシタ、ソレニ對シテ政府當局者ハ造船所ノ如キハ主モ法人、即チ會社デアアツテ個人ノ業デハナイノデアアル、本法ニ觸ルル者ハ上ハ社長ヨリ下ハ隨分末端ノ職工頭カラ職工等ニ至ルマデ法ニ觸ルト云フ場合ガナイトモ限ラヌノデアアルカラ斯ク開キヲ大ニシタノデアアル、即チ刑量ニ差異ガアルト云フ答デアリマシタ、又或

人ハ違反者ガ會社若クハ法人デアアルナラバ財罰ダケデ宜イノニ體刑マデアルノハドウ云フ譯デアアルカト云フ質問ガアリマシタガ、之ニ對シテ政府當局者ハ會社若クハ法人デアアルガ故ニ財罰以外ニ體刑ト云フモノガ必要デアルト云フ答デアリマシタ、其次ニハ罰則規定ニ付テ司法大臣ノ副署ガ無イノハドウ云フ譯デアアルカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府當局者ハ、事、軍事ニ關スルコトデアアルカラ軍事當局者ガ責任ヲ負フノデアアルト云フコトデアアリマシタガ、質問ガ終リマシテ、討論ニ移リマシタガ、一人ノ異議者モ無クシテ可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 別段發議者モ無イト認メマスカラ採決イタシマス、本案ヲ第二讀會ニ移シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第一條ヨリ終リマデ全部問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 松方公爵國葬ヲ行ハレマス當日ハ本院ノ會議ハ休ム積リデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス、明後七日ノ議事日程ハ決定次第、本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後二時四十三分散會

